



海ノ民話のまちプロジェクト

2023年

報告書



海ノ民話アニメーション上映会

作品鑑賞と監督&声優トークショーやアフレコ体験で、海に想いをはせる



アフレコ体験 小学生が「海ノ民話アニメーション」のアフレコに挑戦。会場から大喝采！

海ノ民話アニメーション上映会

主催 一般社団法人日本昔ばなし協会
共催 日本財団 海と日本プロジェクト
日時 2024年3月24日(日)
第1部: 10時~12時
第2部: 14時~16時(入替制)
会場 文藝春秋ホール(東京都千代田区)

プログラム

1. 日本財団 笹川陽平会長ビデオメッセージ
2. 2023年度制作「海ノ民話アニメーション」上映
3. 沼田監督と声優のトークショー
4. 小学生対象のアフレコ体験

登壇者

日本昔ばなし協会 代表理事/アニメ監督
沼田心之介

声優 阿部敦さん
富田泰代さん
四宮豪さん

参加者137名
(事前公募した小学生と保護者、一般)



2023年度の新作25作品を上映

小さな子どもから大人まで、食い入るようにスクリーンに見入り、大画面の迫力ある映像に引き込まれました。いたずら者の河童や、鬼気迫る表情で嵐に向かっていく鬼、潮の流れをみる賢い犬など、個性豊かな主役たちの奮闘に、くすっと笑ったり、息をのんだり…、どの話にも学びがあり、楽しい時間となりました。

上映に先立ち、共催する日本財団の笹川陽平会長がビデオメッセージで来場者に挨拶。「様々なアニメをテレビやスマホですぐに観られる時代において、日本中の海にまつわる民話アニメーションから先人の知恵を感じ取り、家族や親しい人と話題にしてほしい」と話し、当プロジェクトの意義を紹介しました。



沼田アニメ監督と声優のトークショー

声優の富田さんは「昔ばなしの紙芝居のように、目の前で見てくれている人を思い浮かべて語りかけるようにしています。私たちの暮らしは海につながっていて、この水を流すとどこへ行く？などと考え、海を大切に思ってもらえると嬉しい」とアニメ制作の裏側や海への想いにも触れながら話しました。

また、アニメ「火ノ丸相撲」の潮火ノ丸役や「バクマン。」真城最高役など、多彩な作品で声優をつとめる阿部 敦さんは「アニメ作品を通して知らなかった場所の魅力に気づくことができると、いつかそこを訪ねてみるなど、世界が広がります」と話しました。



会場には、原画やコラボ商品を展示



石川県の海ノ民話を紹介、被災地応援も



登壇した沼田監督と声優の皆さん

公開シンポジウム

「『海ノ民話』から学ぶもの」～作家・芸人・学者の視点から～

海にまつわる民話の文化的価値と活用法を考える



公開シンポジウム
「海ノ民話」から学ぶもの
～作家・芸人・学者の視点から～

主催 一般社団法人日本昔ばなし協会
共催 日本財団 海と日本プロジェクト
日時 2024年3月25日(月)18:30～20:00
会場 文藝春秋ホール(東京都千代田区)

登壇者

- ・小説家 永井紗耶子さん
- ・お笑いコンビ「Aマツソ」 加納さん
- ・日本昔話学会委員 久保華誉さん
- ・公益財団法人日本財団 海洋事業部 海野光行常務理事
- ・放送作家・脚本家 勝木友香さん(MC)

参加者 74名(事前公募した一般の方々)



登壇者は「海ノ民話をもつ価値」や、「海ノ民話をどのような表現媒体で伝えていくか」「携わる人を増やすにはどうしたらいいか」といったテーマに対し、各自の専門分野をいかした意見やアイデアを語りました。時には会場が笑いにつつまれるなど、終始和やかな雰囲気の中、活発に議論が交わされました。



日本昔話学会委員
久保華誉さん

海ノ民話アニメーションは、原画や声優の語りなど、芸術として優れています。外国の方にも伝えられるものがあります。理念とともに、発信していただけたら素晴らしいと思います。



お笑いコンビ「Aマツソ」
加納さん

オチのバリエーションを現代風にしたり、裾野の広い民話のあり方が将来的に良いのでは。(海ノ民話の活用について)ゲームは可能性があるのでは。



小説家
永井紗耶子さん

海ノ民話には、物語の基本となるものが入っています。主人公、設定、シチュエーションなど。ひとつの民話をテーマに、動画、ダンス、演劇、キャラクターを深掘りするなど、自由に表現してみると良いのでは。



日本財団 海洋事業部
海野光行常務理事

「海ノ民話」を、ユネスコの「世界の記憶」に提案する。「ジャパンアニメ」という世界的に認められるカルチャーとして打ち出すとともに、世界の他地域との交流も促進できるかもしれません。



■概要

- ①プログラム内容 『身近な海のこともっと知ろう～お夏と藤平から学ぶ海流と漁業～』
- ②講師 里 浩彰(お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所)
- ③実施校 第1回 実証授業 9月15日(金)東京都大田区清水窪小学校 5年生2クラス(児童計68名)
第2回 実証授業 12月9日(土)東京都北区王子第三小学校 5年生2クラス(児童計44名)

■学びの要素

- ①タイトル 「お夏と藤平」 2020年度制作:岩手県普代村
- ②項目
 - (1)海流
 - 4年生 理科 金属、水、空気と温度(「物のあたたまり方」)
 - 5年生 社会 我が国の農業や水産業における食料生産
 - (2)航路
 - 5年生 社会 我が国の農業や水産業における食料生産
 - 6年生 社会 我が国の歴史上の主な事象
 - (3)リアス海岸
 - 5年生 理科 流れる水の働きと土地の変化
 - 6年生 理科 土地のつくりと変化
 - 5年生 社会 我が国の農業や水産業における食料生産
 - (4)その他
 - 6年生 理科 生物と環境

■実証授業の流れ

- (1)導入 日本と海の話、民話の舞台である、岩手県普代村の説明からスタート。
- (2)視聴 アニメの視聴。視聴後に江戸時代の航路や海流、漁場について
- (3)実験 北と南の潮が混じり合う海流の再現実験を実施
- (4)まとめ 実験結果を解説しつつ、三陸沖の海の特徴を説明





福島県鮫川村
鮫川のサメ伝説「化身した黄金の鮫」



福島県いわき市
いわき鮫川のサメ伝説



海ノ民話アニメーションの舞台となった福島県「鮫川村」と「いわき市」の初の連携事業として、2つのまちを巡り、福島のとつなと海とのつながり学ぶとともに自分と海との関わりを知る「鮫川を辿る、ふくしま海の民話ツアー」を開催。

■開催日程

2023年7月27日(木)10時～16時30分

■開催場所

- ①鮫川村役場(鮫川村内)
- ②鮫川河川敷公園(いわき市内)
- ③AC館(交流施設)(いわき市内)
- ④岩間海岸(いわき市内)
- ⑤馬頭観音(いわき市内)※バス移動

■参加人数

鮫川小学校に通う4年生～6年生 8人

■講師

夏井芳徳氏(医療創生大客員教授)ほか、
アクアマリンふくしま、鮫川村の皆様

■レポート

福島海ノ民話アニメーション「鮫川のサメ伝説『化身した黄金の鮫』」の舞台となった鮫川村の子どもたちが、「いわき鮫川のサメ伝説」の舞台のいわき市へバスで向かった。バスの中では、鮫川がどんどん幅が大きくなっていて水力発電にも使われていることなど、鮫川のことについて学びながら移動。河口にほど近い鮫川河川敷公園では、海に出る直前の鮫川の様子を観察し、村で流れる川との違いや、村から海まで続いているつながり・規模を実感した。



また、川にはペットボトルなどのごみもわずかに散見され、鮫川村など街で捨てられたごみもこうして海へ流れていくのだという事実を知った。

AC館(交流施設)では、いわき市の魚である「メヒカリ」と、福島県が全国消費量トップクラスを誇る「カツオ」の竜田揚げを味わい、福島海の恵みを体感。その後、今回のツアーのきっかけとなった2作のアニメーションを鑑賞し、今回の旅の意義を確認した。



公式ウェブサイトリニューアル



検索機能を強化

アニメーションを、「エリア」「登場キャラクター」「海の学びのテーマ」「演出担当(クリエイター)」などで分類し、作品との出会いがより身近になりました。

作品情報を充実

各作品に「一言まとめ」「あらすじ」「海の学び」「名場面集」を完備。小学生で学習する漢字を使用し、表現も易しくまとめることで、小学校高学年から作品の理解を深められるように工夫しています。また、各作品の制作メンバーの記事も追加、コアなファンの方への情報を充実させました。

「海ノ民話のまち」との連携を強化

各作品に付随して「海ノ民話のふるさと紹介」のコーナーを新設。それぞれの民話が生まれた自治体の紹介や民話に登場するスポット案内を掲載しました。また、海ノ民話アニメーション(動画・画像など)を、教育・まちづくり等に活用できる仕組みを構築し、ネットワークを広げています。

アニメ配信

アニメ配信サービス「DMM-TV」「U-NEXT」「クラクイン!!ビデオ」と連携し、海ノ民話アニメーションを配信。多くの方々に視聴の機会を提供しました。



クラクイン!!
ビデオ

書籍「海ノ民話の世界」編纂

海ノ民話アニメーションを民俗学視点やアート視点、日本のサブカル史視点など多角的に検証する書籍を文藝春秋社と編纂。直木賞作家・永井紗耶子さん、人気芸人Aマツッ・加納さんらインタビューを多数収録。



事務局PRチーム

2023年度新たに、事務局PRチームを発足。各地の実行委員会を支援しました。

- 具体的には、
- ◎キービジュアル提供
 - ◎プロジェクト紹介、動画データ提供
 - ◎ティザー映像提供
 - ◎説明会開催
 - など



次年度の新規エリア開拓

2018年から始まった海ノ民話のまちプロジェクトで、まだアニメーションが作られたことのない都道府県にて、協働する自治体・事業者を探し、参画を働きかけ。結果、次年度公募に5つの新規都道府県内からエントリーいただきました。



「海ノ民話アニメーション」
2023年度タイトル一覧



北海道・東北

- 島の天狗さま (北海道羽幌町)
- かんだ蟹 (青森県外ヶ浜町)
- 神割り岩 (宮城県南三陸町)
- 黒神と赤神の戦い (秋田県男鹿市)
- トドの恩返し (山形県酒田市)
- 鹿狼山の手長明神 (福島県新地町)

関東

- 雪どけ塚の白へび (千葉県船橋市)
- 千住大橋と大亀 (東京都足立区)

中部

- 鯨神輿 (富山県射水市)
- 蛸神さま (石川県七尾市)
- 西小川十一面観音菩薩 (福井県小浜市)
- まりつき唄 (山梨県富士川町)
- 善知鳥峠 (長野県塩尻市)
- 奥浜名湖の鶴伝説 (静岡県浜松市)

近畿

- 海女のトモカヅキ (三重県鳥羽市)
- しこぶちさん (滋賀県高島市)
- 別当の潮 (兵庫県淡路市)

中国

- 大山の阿弥陀さま (鳥取県大山町)
- きゅうりの神さまと山辺神社 (島根県江津市)
- 百貫島物語 (広島県福山市)

四国

- 鳴門の太鼓 (徳島県鳴門市)
- 地藏が浜 (愛媛県西条市)
- 海に沈んだ鬼 (高知県中土佐町)

九州・沖縄

- 琴の海の天女 (長崎県東彼杵町)
- お倉ヶ浜とお金ヶ浜 (宮崎県日向市)

島为天狗さま



島に住む天狗（てんぐ）の意地悪で 島民がこまっていたら、大きなカメが天狗をこらしめた

こんなおはなし…

北海道の天売島・焼尻島（てうりとう・やぎしりとう）の漁師、太吉の舟が急に動かなくなり、底にあなが開いてどんどん水が入ってきたが、岩にはい上がると舟は元のようにかんできた。となりに住む与助も山へ木を切りに行つて、ふしぎなことがあったという。こまった2人が巫女に相談したところ、それは島に住む天狗の意地悪だという。し

ばらくすると、助っ人の大きなカメが岸へ寄ってきたので、島民たちは天狗のいる森へと案内した。天狗はおこり出し、島は三日三晩大あらしになったが、カメも負けずに天狗の住む太いオンコの木にたどり着き、力任せにそれをゆすると……

学びのポイント

民話に出てきた天狗は、森や海からめぐみを受けている人間が、行き過ぎた行いによって生態系をこわすことのないように、注意する存在として登場しています。森は、川や海とつながっており、自然の循環が海の豊かさを育みます。

森や海をふくめた自然環境の保全につとめることが、将来にわたって地域の持続可能性を守ることになるでしょう。天狗は、自然のめぐみに感謝する気持ちを見つめ直すことの大切さを伝えてくれているのです。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	平柳益美	ふくだるな

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月16日 羽幌町役場

【森淳町長コメント】

私自身もうっすらとしか覚えていなかった民話が今回アニメーションで復活し、先人たちから数百年続いた話が形として残ることを大変うれしく思う。羽幌町と二つの離島の歴史的背景を学ぶ教材として、このアニメを通じて子どもたちに何かを感じ取ってもらいたい。羽幌を訪れようとしている方たちにもぜひ見て頂いて羽幌を知って頂きたい。



上映会
2024年2月17日
羽幌町中央公民館
羽幌町の小学生・関係者



地域連携
島の天狗さまサブレ
販売元：御菓子司 梅月
2024年4月上旬より
毎月にて販売



宿にとめた男が紙にかいたかにかが海水にゆらすと 海にぬけ出して、毎年かにかが豊漁になった

こんなおはなし…

外ヶ浜で宿を営む三吉は、連れとはぐれたという絵かき風の男を宿にとめた。数日がたって宿代のことを切り出すと、男がお金を持っていないとわかり、男は「金がはらえない代わりにできることをしたい」と、馬のわらぐつに墨をつけて紙の上におしつけ、さらに小さな筆を持ってさらさらとかきこむと、あっという間にかにかの絵が完成した。その

上、男はかにかを海に帰すといい、海水にゆらゆらと紙をゆらすと、なんと紙からかにかがぬけ出てゆっくり海に泳いでいった。以来、毎年春になると……

学びのポイント

青森県の外ヶ浜町にある蟹田（かにかた）という地名の由来が、蟹が多いと書いて「蟹多」であったことからわかるように、このあたりの湾は、トゲクリガニが豊富に水あげされる場所として知られ、独自の食文化があります。海の

めぐみを受け取りながらくらす人々の関係は、損得勘定だけでは成り立ちません。おたがいに思いやりや親切心を持たないと、海と共栄・共存していくのはむずかしいということを、この民話を通じて学ぶことができます。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 樋口雅一

地域連携レポート



表敬訪問

2024年2月2日 外ヶ浜町役場2階特別会議室

【山崎結子町長コメント】

外ヶ浜の地域の話がアニメ化されたのは嬉しく光栄。町民も喜ぶと思う。地域の伝承を子どもたちの世代に伝えていくには、アニメーションはぴったりだと思う。現在建設を進めている施設も含め、町の公共施設で上映できるようにして多くの町民に見てもらいたい。



上映会

2024年2月21日
外ヶ浜町立蟹田小学校
外ヶ浜町立蟹田小学校全
校児童89名とその
保護者、外ヶ浜町民



地域連携

クリアファイル
販売元：道の駅たいらだて
2024年3月25日より道の駅
たいらだてにて販売



村境の争いが絶えない浜にクジラが打ち上がり、 神様の教えに従って分け合った

こんなおはなし…

昔、志津川の戸倉寺浜（とぐらてらはま）と北上の十三浜では、村境の争いが絶えなかった。ある年、不漁が続いて食べるものにもこまっていると、村境あたりに大きなクジラが打ち上がった。両方の村人がおたがいに自分たちのものと言い張り、争いがはげしくなってきた時、稲妻が走って大きな音がし、クジラの近くの岩に雷が落ちて割れ

目が見えた。村人たちは、神様からの「争いをしないで仲よく分け合え」という教えであると理解して……

学びのポイント

限られた海のめぐみを自分だけがひとりじめするのではなく、みんなで分かち合い、ともに支え合いながら生きていくことの大切さを学ぶことができます。民話に出てくる宮城県南三陸町の場所は神割崎（かみわりざき）とよばれ、

毎年2月と10月の10日間ほど、岩のさけ目の向こうに神々しく光る、海からの美しい日の出を見ることができます。それは自然が織りなす夢のような風景です。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 並木さとし	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 いとうのりひこ
----------------	-------------	-------------------------------

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月11日 南三陸町役場町長室

【佐藤仁町長コメント】

拝見して最初に思い浮かんだのは「まんが日本昔ばなし」。日本昔ばなしのレギュラー放送が終わってから30年、そのような節目に本作品が完成し披露できるのも何かの巡り合わせではないかと感じる。日本財団様、監督さん、東北放送スタッフの皆様のご協力に感謝し、改めて厚く御礼を申し上げます。年齢関係なく見ることが出来る作品であり、地域の子どもたちにとって情操教育にもなると感じている。



上映会
2024年2月11日
南三陸町役場
エントランス
南三陸町民、
南三陸高校の生徒



地域連携
海塩サブレ
神割り岩DEなまこよしこし
販売元：菓房 山清
2024年2月11日より
菓房山清本店にて販売

黒神と赤神の戦い



美しい女神をめぐる、心やさしい神さまと あらあらしい神さまが戦った

こんなおはなし…

昔、出羽の男鹿（おが）には赤神という心やさしい神さまが、南部の十和田湖には美しい女神が、津軽の竜飛には黒神というあらあらしい神さまがいた。黒神と赤神は女神をわがものにしようと戦いを始めたところ、黒神の勢いが上

回り、赤神は男鹿にのがれて「空寂（こうじゃく＝くじゃく）の窟（いわや）」という岩穴に姿をかくすことに。しかし、女神は戦いに負けた赤神に同情して「空寂の窟」に移ったので、黒神は天をあおぎ……

学びのポイント

「黒神」が住んだ青森県の竜飛崎の岩は力強い黒色であるのに対し、「赤神」が住んだ秋田県の男鹿（おが）半島の岩場は少し赤みを帯びたおだやかな形をしており、秋田と青森でくり広げられる物語に照らし合わせて、それぞれの大地の成り立ちのちがいに目を向けることができます。

赤神がかくれた場所は、現在も断崖絶壁に海食洞窟の「孔雀窟（こうじゃくのいわや）」として残っています。男鹿半島ではかつての火山活動と、波の浸食による独自の地形が絶景をつくり、芸術作品のような見どころが多数存在します。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 鍋島啓丞

地域連携レポート



表敬訪問
2023年12月26日 男鹿市役所3階第1会議室

【菅原広二市長コメント】

素晴らしいアニメを作っていただき感謝申し上げます。秋田県男鹿市から青森県の津軽半島まで広域的な舞台となっていて、雄大なドラマを感じる。子どもの教育にも十分活用できる内容で、必ずしも力が強いものだけが勝つのではなく、戦いに負けた赤神が女神との縁を結べたように、敗者復活的な要素があるのは魅力。負けても最後に幸せが待っているというメッセージもあり、明るく元気な男鹿市民を象徴するようなアニメ。男鹿市民にとどまらず広くアニメを見ていただき、観光政策の新たな切り口として活用したい。



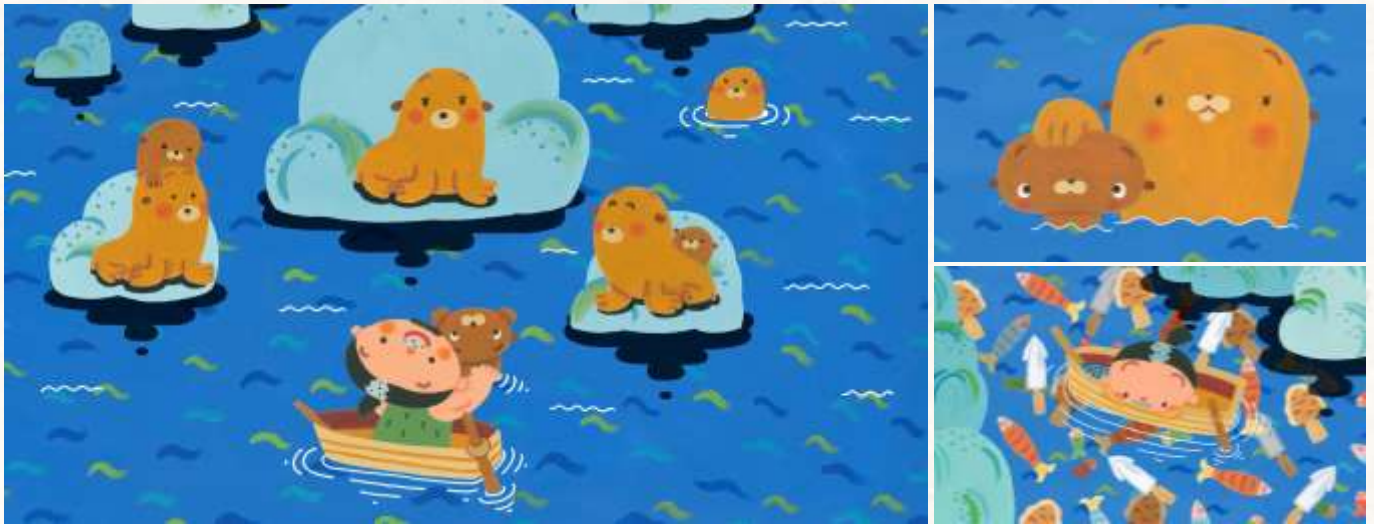
上映会

2024年2月19日
男鹿市立脇本第一小学校
男鹿市脇本第一小学校
3年生25名



地域連携

手焼き煎餅しよつる
醤油味 10枚入箱
販売元：米葉匠 鼎庵
2023年12月27日より
米葉匠 鼎庵本店にて販売



心やさしい漁師がいじめられている トドを助けると、たくさんの魚が現れた

こんなおはなし…

昔、心やさしい福太郎という漁師がいた。ある日、漁に出た福太郎はおおぜいの子どもたちが小さいトドをいじめているところに出会い、助けて海にはなしてやった。何日か過ぎたころ、福太郎が漁に出ると、舟のそばに子ども連れのトドが現れて、「先日は子どもを助けていただいてあり

がとう。ときどき鳥帽子群島の岩かげに行ってみてください」と言った。岩かげのくぼみの中には魚がひしめいていて……

学びのポイント

山形県でただひとつの有人離島である飛島（とびしま）は、現在は漁業がさかんな観光地として知られていますが、かつては、北からの海流によってたくさんのトドが集まり、生息する姿が見られました。飛島本島の西の海上にある鳥帽子群島の岩かげには、「イカの壺」と呼ばれる魚だまり

が自然のいけすとして古くから使われていたそうです。春にはヤリイカ、夏にはスルメイカが豊富にとれ、江戸時代には年貢としておさめられていました。海のみぐみに感謝をしつつ、多様な海洋生物が集まる飛島の豊かな自然を守りつづけることが望まれます。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	神尾香菜子	西内としお

地域連携レポート



表敬訪問
2023年12月13日 酒田市役所4階第一応接室

【矢口明子市長コメント】

飛島への定期船の船内モニターで今回贈呈いただいたアニメーションを流したい。また、教育委員会とも連携して、市内の小中学校はもちろん、保育園や幼稚園でも見てもらえるよう動き、鳥海山・飛島ジオパークでも広く活用できるように動きたいと思っている。酒田市役所の1階ロビーでも放送して、酒田市のPR素材として活用し、子ども達に民話を通して学びを得てもらい、飛島に行ってみたいという人を増やしたい。



上映会

2024年2月11日
山形県酒田海洋センター
／SAKATANTO
一般募集20名
および当日来場者

地域連携

絵はがきセット、とびしまおさかなクッキー
販売元：合同会社とびしま
絵はがきは2024年2月より、クッキーは2024年4月20日より、とびしまマリンプラザ1F「うみねこちゃん」他にて販売



鹿狼山の手長明神



鹿狼山に住む手長明神という神様は、
白い鹿と白い狼をおともにして村人のくらしを見守っている

こんなおはなし…

新地の海辺に住む長吉という男の子は、初めて父親の舟で海に出たときに、一番高く見える鹿狼山（かろうさん）を目印に岸にもどればいいことを教えられた。鹿狼山には、昔々、手長明神とよばれる手の長い神様が住んでいて、白い鹿と白い狼をおともにして、ここの生きものや人々のくらしを見守っていた。長吉が大きくなって、うでのいい漁

師になっても、海からもどると、海のめぐみと無事に帰ってこられたことに感謝をわすれず……

学びのポイント

民話に登場する手長明神が住む「鹿狼山」の名前の由来や、食べた貝をすてた「新地貝塚（かいづか）」との関係を、物語を通じて楽しく学ぶことができます。また、仙台湾（せんだいわん）で様々な種類の貝が採れることを改めて

見つめなおし、おいしい海のめぐみに感謝をしつつ、この海の豊かな生態系をみださぬように注意する気持ちを育むきっかけとなるお話です。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 並木さとし	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 まなみ
----------------	-------------	---------------------------

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月5日 新地町役場2階応接室

【大堀武町長コメント】

新地町の象徴ともいえる手長明神のデザインが、町民から愛されるかわいいデザインで仕上がって嬉しい。

新地町の文化財を子どもの世代、孫の世代にも大事にもらえるよう、このアニメを活用して継承していきたい。



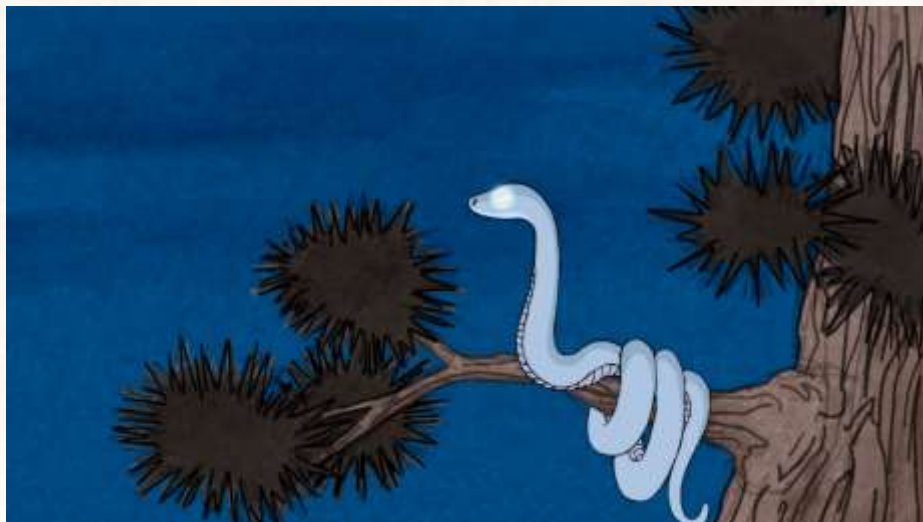
上映会

2024年3月6日
新地町立新地小学校
／新地町立福田小学校
新地町立新地小学校
28名
／新地町立福田小学校
20名



地域連携

鹿狼山手ぬぐい
制作元：新地町役場
2024年1月1日に鹿狼山
登山記念品として
1000名に配布



海であらしにあった漁師が 陸上の白へびの目の光をたよりに無事に帰ることができた

こんなおはなし…

昔、夏見城というお城を囲む土塁の近くに「雪どけ塚」と呼ばれる不思議な小高い塚があった。その上にはりっぱな松の木が生えていて、根元の大きなあなに住む白へびが、夜になると松の木の決まった位置に姿を現した。その光る目の美しさとやさしく気品のある姿を、村人たちはおそろしさもわすれてうっとりとながめていた。ある日、漁に出

ていた2人組の漁師の舟が急なあらしにまきこまれた。すっかり沖に流されてしまい浜にもどる目印をなんとか見つけようとしていたそのとき、はるか遠方に青い光を見つけた。その光を白へびの青い目だと信じて死に物ぐるいでかいをこぎ続けた2人は……

学びのポイント

千葉県船橋市の海は、かつては徳川家に魚や貝をおさめるほど豊かな漁場でした。一方で、漁に出た際に方角を見失うなど、海の事故も多く起こっていました。漁から無事にもどるために、街中に灯台のあとが数多く残っています。

特に船橋大神宮に残る灯明台は、日本の灯台の進化の歴史を伝えています。民話の中で灯台の役目を果たしていたとされる白へびが、海に住む人々のくらしを見守り、海の安全を守っているのです。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 神尾香菜子	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 白梅進
----------------	-------------	---------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2024年2月14日 船橋市役所9階第1会議室

【松戸徹市長コメント】

船橋の海について語るときに「民話」という単語と一緒に使えると、歴史をすぐ認識してもらえるので、認定そのものを船橋市としてありがたく思う。

民話の中に、船橋市が大切にしてきたもの、海とか漁業とか自分の育っている町への思いを育てる為に貴重な機会になった。教育長と相談しながら、各公民館などで活用させていただく。



上映会

2024年3月5日
夏見公民館
八栄小学校3年生
180名、
ふなばし街あるきネット
ワーク
20名



地域連携

船橋三番瀬焼海苔 ミニ
バック民話セット
販売元：江戸前海苔師
坂才丸
2024年3月16日より
船橋市観光協会
他で販売



大亀がすむといわれた墨田川に、 工夫して工事を進めて千住大橋がかけられた

こんなおはなし…

江戸時代のはじめ、大変な暴れ川だった隅田川に橋をかけるように、土木工事の名人が任命された。川には主といわれる大亀がすんでいて、その住みかがちょうど橋をかける付近の川底にあったので、くいを打ちこむのがうまくいかなかった。そこで、その場所をさけてみたところ、さほど

の苦労もなく打ちこむことができた。ずらした分だけ橋脚のはばが広がって、見た目に不ぞろいになったものの、千住大橋が完成した。その後も、たまに舟が橋の下でひっくり返ると「大亀様がおこってそうした」などといわれたが……

学びのポイント

東京都の荒川区と足立区の区境となる千住大橋付近は、うめ立てられる前は船の往来も多く、今よりずっと海を身近に感じられる場所でした。かつて隅田川は洪水を引き起こす暴れ川であり、潮の満ち引きによる干満差で、橋付近の川の流れにうずがけることもありました。そのため、橋

の下は航行の難所とおそれられてきました。川と海の地理的な関わりを知ることで、水害の危険を正しく理解するとともに、水難事故防止への意識を高めていくことが必要だといえます。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 神尾香菜子	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 鈴木愛
----------------	-------------	---------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2024年2月7日 ギャラクシティ まるちたいけんドーム

【足立区制作経営部 勝田部長コメント】

自分自身が「まんが日本昔ばなし」を見て育った世代なので、今回、地元の民話がアニメーションとなったことを誇りに思う。今後は、小学生を対象に地域の環境、文化、風土を学ぶ教材として活用していきたい。



上映会

2024年2月7日
ギャラクシティ
まるちたいけんドーム
小学生90名



地域連携

塩青のリクッキー
販売元: 焼きたてパン工房 サンベルゴ
2024年4月よりサンベルゴにて販売

五家宝
販売元: 株式会社ワトー
2024年4月よりワトーにて販売

鯨神輿



海の底で八百年生きてきた大きな鯨を引きあげて、 村人がめぐみを分け合った

こんなおはなし…

海老江（えびえ）に住む彦兵衛という船頭が、ある夜、夢の中で「沖の深みに大きな獲物がすんでいる」と神様のお告げを受けた。網元の清与衛門（きよえもん）も同じお告げを受けたと言い、2人で海の深いところを調べてみると、大きな鯨が見つかった。鯨はこの海で800年生きてきたが、

命が燃えつきようとしている今、飢えや水害で苦しむ村人のために、体を役立ててほしいと言う。そこで、村中の男女や近くの村々が力を合わせて鯨を引きあげて……

学びのポイント

鯨が自らの体を人々に分け、次の世代へ受けついでいくがたから、自然界の生き物はみな、おたがいに関わり合いながら命をつないでいることが伝わります。海の神に感謝する心を持って、海でとれたものを分け合い、自然をうやまう心をわすれない大切さを学ぶことができます。海老江

（えびえ）の加茂神社では、毎年秋分の日に「海老江曳山（ひきやま）まつり」が行われ、この民話にちなんだ鯨神輿が練り歩くなど、海とのつながりが行事として今も伝えられていることがわかります。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	平柳益美	矢澤範生

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月13日 射水市役所本庁舎4階401号室

【夏野元志市長コメント】

当時ののどかな海老江の雰囲気が出ていて、子どもたちにも親しみやすいアニメーションになっている。これからの未来を担っていく子どもたちに、地元にも伝わる教え・教訓であるアニメーションを見てほしい。地域の民話を継承していく力が弱くなってきている。こうしたアニメーションを活かしながら、地域のことを再認識してしっかり継承して欲しい。海から色んな恵みを得ている地域として、海を大切にしていることを今回をきっかけに再認識しながら取り組む機会にしていきたい。



上映会

2024年2月16日
射水市立東明小学校
射水市立東明小学校
43名



地域連携

射水民話菓子
富山塩カステラ
販売元：放生若狭屋
2024年3月1日より
放生若狭屋
新湊本店にて販売



大きな蛸に乗ってきた八幡さまを信心深い老人が 家にまつり、大火の難からのがれた

こんなおはなし…

その昔、三郎助という信心深いじいさまが住んでいた。ある夜のこと、三郎助の夢に八幡様が現れて、「じいさまは大変信心深いと聞か、わしはお前のところへ行くぞ」とお告げがあった。次の日の朝、「もったいないことじゃ」と海岸で待っていると、八幡様は大きな蛸に乗り、あいの風（海から陸にふく北東の風）にふかれてやってきたので、

三郎助は八幡様を大切にかまどの上におまつりした。ある年、村が大火にみまわれたときのこと、三郎助の家の上に大蛸がかぶさって火が燃え移るのを防いで……

学びのポイント

石川県の七尾湾は蛸のすみかとなる岩礁が多く、古くから真蛸の産地として知られています。あいの風に乗って海岸に流れ着く蛸など、海から来たものを神とあがめており、村人たちが海に対して畏敬の念をいだいていたことがわか

ります。今でも1月、4月、10月の年に3回、愛宕神社で蛸祭りが行われ、八幡様や神の使いの蛸に感謝のいのりをささげています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 久光正	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 館信一郎
----------------	-----------	----------------------------

地域連携レポート



地域連携

「能登の塩、味噌セット」
協力：のと島クラシカ研究所
2024年4月以降に道の駅のとじまにて販売予定

海の民話アニメーション上映会・公開シンポジウム



展示

石川県七尾市の民話『蛸神さま』
名場面パネルと、アニメーション紹介ボード



登壇者の応援メッセージ

被災地へのメッセージを掲示したほか
石川テレビの取材に協力しました

西小川十一面観音菩薩



観音さまを深く信じる漁師があらしに まきこまれたとき、観音さまに導かれて助かった

こんなおはなし…

常福寺観音堂の十一面観音菩薩は、修行の旅で福井に来ていた行基が夢のお告げによってほり上げた観音さまで、村人から親しまれ、深く信仰されていた。この村の漁師・三郎太もまた信仰心のあつい若者で、漁に出る前には必ずお参りしていた。ある日、三郎太は漁の最中に急なあらしに

まきこまれて沖に流されてしまった。一心に観音さまに念じると、海はまたたく間に静まり、白い帆の舟が近づいてきて観音さまが北へ北へと導いてくれ……

学びのポイント

福井県小浜市周辺の海では古くから、大敷網（おおしきあみ）とよばれる定置網漁が行われており、現在でもその漁業様式は脈々と受けつがれています。海に面した常福寺の山号は「海潮山（かいちょうざん）」であり、地域の人々は漁に出る前に、観音さまに無事をいのるなど、海と信仰

が深く根づいた地域性であることがうかがえます。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 小林三男

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月8日 小浜市役所3階 市長応接室

【松崎晃治市長コメント】

観音様が公開されるのは17年に一度の御開帳の時で、なぜこんなに大切にされているのかアニメを見ると理由がよくわかる。内外海の家や自然・歴史がいかに素晴らしいか、子どもたちや市民の方にアニメを是非見ていただき実感してもらいたい。こんなに素晴らしい海の民話が残っていることを、あらためて知ってもらえる機会になると思う。



上映会

2024年2月1日
内外海小学校
内外海小学校38名



地域連携

紙製クリアファイル
販売元：若越印刷
2024年2月29日より
ドライブイン九十百千
にて販売



豊年を祝ってお参りに出かけた姉妹の乗った舟が、急流で波のまれた

こんなおはなし…

甲州（現在の山梨県）の呉服屋に仲のいい姉妹がいて、ある年、豊年を祝って2人で身延山（みのぶさん）もうでに出かけることになった。明け方船着き場に到着して、歩きつかれたこともあって先は舟で行こうと2人は乗りこんだが、若い船頭は不慣れなのか、手つきもぎこちないものだった。

一里半ほど進んだとき、「ここはあぶない天神ヶ滝よ」と言う船頭に、姉は「いますぐ舟をとめて」と必死でお願いしたが、「こんなところじゃとめられないよ」とつき放されたたん、あっという間に舟は波にのまれ、姉妹は川に投げ出され……

学びのポイント

このお話は本当にあった姉妹の物語で、「まりつき唄」として歌いつがれてきました。姉妹が命を落とした天神ヶ滝などの急流では、かつて多くの水の事故がありました。一方で、静岡県で駿河湾に注ぐ富士川は、生活に欠かせない塩や米などを運ぶ、物流の生命線でした。海のない山梨県

や、長野県南部にくらす人々にとって、富士川舟運（しゅうん）は、豊かな海と内陸を結ぶ重要な役目を果たしていました。たとえ危険となり合わせでも、海とつながる水運は、そこにくらす人々に欠かせないものだったことを伝えています。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	神尾香菜子	古村静香

地域連携レポート



表敬訪問
2024年1月15日 富士川町役場1階101会議室

【望月利樹町長コメント】

時代とともにすたれていってしまう町の歴史を新しい形で後世につなぐことができありがたい。沿岸部と内陸部を結んだ川の道、自然と人間との共存、どうやって人々が生きてきたかを子どもたちに学んでもらえる素晴らしい機会になった。富士川舟運によってこの富士川町がかつて山梨県の物流の拠点であったことについて、地域の子もたちが今後、ふるさとの歴史を学んでいくうえで、今回制作していただいたアニメーションがよい題材になってくれればいいと願う。



上映会

2024年3月1日
富士川児童センター
増穂南小学校約40名



地域連携

柚子塩おかし、諏訪塩ようかん
販売元：道の駅富士川
2024年2月22日より
道の駅富士川、
総合交流ターミナル
「つくたべかん」にて販売



海辺でつかまえられたひな鳥を 山の中まで追ってきた親鳥が、つかれて力つきた

こんなおはなし…

めずらしい海鳥の善知鳥（うとう）の巣を見つけた陸奥（今の東北地方の一部）の国の猟師である弥七は、親鳥の声をまねてひな鳥をおびき寄せ、つかまえた。昔は善知鳥を主君におくったり神前にそなえる風習があり、弥七はひな鳥を主君におくるために都へ旅立った。親鳥は悲しんで

鳴きながら空を飛び回り、ついてきた。東山道を進み、信濃（今の長野県）へ入ったところには秋も過ぎて冬になっていた。親鳥はすっかりつかれきって力つきてしまった。雪の上で善知鳥を見つけた里人は……

学びのポイント

海のない長野県にある峠の名前が海鳥である善知鳥（うとう）に由来していることから、海の始まりは山の中の水源であり、山と海との深いかかわりを読み取れます。物語の中で親鳥は、海辺でとらわれたわが子を追って、遠い山の中まで追いかけてきます。生き物は、鳥も人間も変わらない

い愛情を持っていることが分かります。また、長野県で「塩」の名前がついているこのエリアは、沿岸部で作られた塩の流通と関係があると言われており、交易のルートがあったことで猟師の旅が成り立っていたことも、わすれてはいけません。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 ノコゆかわ

地域連携レポート



表敬訪問
2024年1月26日 両小野中学校体育館

【百瀬敬市長コメント】

海ノ民話のまちプロジェクト関係者の皆様に感謝を申し上げます。海がない塩尻市において、海という名前が付いた認定は初めての事。塩尻市は日本海側と太平洋側に分かれる水の起点となる場所。私たちがちゃんと自然を守って上流から綺麗にし、環境を良くしていかないと海も汚れてしまう。つまり、海に対する愛情を持つということが大切。アニメーションを通じて皆さんが善知鳥峠、そして塩尻市に愛情をもって後世に伝え、未来に繋いでいってもらえれば、こんなに嬉しいことはない。



上映会

2024年1月26日
両小野中学校
在校生65名、塩尻市関係者ほか



地域連携

信州塩尻 たのめの里
大分水嶺の水
販売元：しおじり街元氣
カンパニー
2024年3月25日より
塩尻駅前観光センター
他にて販売

奥浜名湖の鶴伝説



天皇の病気のもとと考えられた化け物の鶴が 勇者によって退治された

こんなおはなし…

800年ほど昔、二条天皇が不思議な病気にかかった。それは鶴という、頭はサル、体はタヌキ、手足はトラ、しっぽはへビからなる化け物のしわざと考えられていた。その化け物をやっつけるために、弓の名手の源頼政とその家来、また遠江（とおとうみ＝現在の静岡県西部）の住人である

猪鼻早太（いのはやた）に命令がくだされた。はげしい戦いの末、猪鼻早太に打ち取られた鶴は四つに切断され、猪鼻湖の周辺に落ちて……

学びのポイント

民話の中で鶴が落ちた先が、それぞれの地名の由来となっていることから、浜名湖の支湖である猪鼻湖の地形や地名に興味深く知ることができます。また、海水と真水の入り交じる汽水湖である浜名湖同様、猪鼻湖にも、海と湖を行き来する多様な生き物が生息しています。海の性質をもつ

この浜名湖一帯では、潮の満ち引きの影響を受けるため、水の事故が発生しています。猪鼻湖の鳥居は、水上の安全を見守るとともに、事故への警告をうながすシンボルとなることでしょう。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	神尾香菜子	ススキダシオ

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月20日 浜名区役所3階

【中村公彦区長コメント】

「奥浜名湖の鶴伝説」という素晴らしいアニメの完成によって、「鶴代」が地元の歴史と絡まって付いた地名だということを知ることができ、とても感慨深い。アニメを活用して地域に広めようと、鶴の張り子や、まんじゅうの開発に取り組んでいる状況もとてもおもしろいと思う。地域と一緒に完成したアニメ「奥浜名湖の鶴伝説」を、浜名区役所としても一緒になって広め、地域の歴史を知り、地域を学ぶきっかけとして、今後も役立てていきたい。



上映会

2024年2月20日
浜松市立三ヶ日中学校
浜松市三ヶ日中学校約
400名

地域連携

(右)鶴まんじゅう
販売元：三ヶ日製菓
2024年4月中旬より
三ヶ日製菓にて販売



(左)三ヶ日の鶴 張り子
販売元：遠州天狗屋
2024年3月より遠州
天狗屋EGサイトにて販売



大きなアワビをとりたいと欲張った海女が、 トモカツキにあって命を落とした

こんなおはなし…

鳥羽・志摩の海では、2000年前の大昔から、女性が海にもぐってアワビや海そうなどをとって暮らしを支えてきた。あるとき、早く一人前としてみとめられたいとがんばる若い海女2人が、もう少しやれば大きなアワビがとれるからと、止める漁師の忠告も聞かずに漁を続けた。すると、その1人

の前に深い海の底からよく似た格好の海女がずっと現れて、手招きをした。手には大きなアワビを持っていたので、思わず手をのぼすと、とたんに海の底へと引きずりこまれてしまった。それはおそろしい海の妖怪「トモカツキ」だったのだ。仲間の海女も同じように……

学びのポイント

三重県の鳥羽のあたりにある漁村の海ぞいには岩場が多く、古くから漁師は船で海に出て魚をとり、海女は海にもぐってアワビや海そうなどをとって生活を支えていました。海女にとって沿岸の海はかけがえのない仕事場ですが、海女の素もぐり漁はつねに危険ととなり合わせで、わずかな判

断のあやまり、少しの油断で命を落とすこともあるのです。海の事故のおそろしさをあらためて理解するとともに、海女たちが安全に漁を続け、その伝統を残すために「トモカツキ」は語りつがれています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 市ノ川聡

地域連携レポート



表敬訪問

2024年1月17日 鳥羽市役所2階市長室

【中村欣一郎市長コメント】

子どものころから聞いていた話がリアルに描かれていて本当に鳥肌が立った。海には常に後ろに誰かいる怖さがあったり、昔から一人で潜るなど言われてきた。昔から伝わる話を市内の子どもたちには教訓にしてもらい、夏休み前などに見る機会を作りたい。



上映会

2024年2月4日
鳥羽市立海の博物館
親子8組23人



地域連携

あらめ佃煮
販売元:くざき鮫おべん
企業組合
2024年2月4日より
鳥羽マルシェ 他に販売



川を通るいかだに悪さをした河童を いかだ師のしこぶちさんがこらしめ、航行の安全を守った

こんなおはなし…

いかだ師のしこぶちさんが、小さな息子をいかだに乗せて川を下っていると、岩に当たって立ち往生してしまった。ふと見ると、河童の川太郎（かわたろう）が息子を川底に引き入れようとしていたので、しこぶちさんはこの河童を

こらしめた。川太郎が謝ったので、しこぶちさんは許し、再び川を下っていったが、また現れてじゃまをした。しこぶちさんはおこって川太郎を打ちのめそうとしたが、息子にたのみこまれて許すことにして……

学びのポイント

滋賀県高島市の安曇川（あどがわ）上流周辺の「しこぶち信仰」は、平成27年度に日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」の構成文化財のひとつにみとめられています。古くからこのあたりでは、山々の木材を、雪解け水などの安曇川の流れを使った「いかだ流し」という方法で奈良や京の都へ運んでいました。また、いかだ乗りたちを危険から守る

神様として「しこぶちさん」を大切にまつりました。安曇川の水は琵琶湖に注がれ、瀬田川から宇治川や淀川を経て大阪湾へと流れています。木材を運ぶ川を通じて、林業をなりわいとする山と海とのつながりが、山村の暮らしを支えてきました。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 神尾香菜子	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 城井文
----------------	-------------	---------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2024年2月9日 高島市役所新館3階会議室7

【福井正明市長コメント】

短時間でわかりやすくストーリー性もまとめてもらっている。安曇川の林業のなりわいが吹き込まれていて、小さな子どもたちでも十分理解できる。市内のこども園や小・中学校、図書館に置きたい。



上映会

2024年2月27日
高島市立朽木東小学校
高島市立朽木東小学校
5年生



地域連携

安曇川
アドベリーカステラ
販売元：タカギ・フーズ
2024年2月9日より
道の駅藤樹の里あどがわ
他にて販売



潮の流れを観察していた犬が板切れに乗って 対岸に流れ着き、新しい航路が開かれた

こんなおはなし…

淡路島にある観音寺の別当ぼうさんに飼われている犬が、毎日高台から潮の流れをみていた。流れは速いときもおそいときもあり、特に潮の速い日が月に一度あることに気づいた。犬は海岸に打ち上げられた板きれをくわえて流れにほうりこみ、高台へかけ上がってながめるのを何度もくり

返し、漁師たちは何をしているのか不思議に思っていた。ある日、犬は流れる板きれにとび乗ってどんどん潮に流されていき、漁師たちはおどろきあわてたが、ついにあきらめてしまった。ところが、数日たって村の漁師が陸伝いに対岸の堺の町へ出たとき、その犬が現れて連れ帰り……

学びのポイント

周りを海に囲まれた淡路島では、海運による本州との行きかいが欠かせないため、漁師たちは常に安全で便利な海路をさぐっていました。流れの速い明石海峡の海流を使って、すぐ対岸の兵庫だけでなく、大阪府堺市などとも海の道を

使った交易が行われていたことがわかります。安全に海の道を使うためにも、まずは海を観察し、潮の流れなどのメカニズムを知ることが重要だと学ぶことができます。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 並木さとし	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 中田彩郁
----------------	-------------	----------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2024年2月26日 淡路市役所2号館2階第4会議室

【門 康彦市長コメント】

兵庫県初の認定ということで非常に嬉しい。子どもたちへの教育という観点、観光資源としての観点から、これからの重要なツールになると思う。特に最近の若い世代は活字に苦手意識があるので、アニメーションは、直接目に映像として入ってくるという点でも子ども向けにいいと思う。大人も楽しめる内容でもあるので、感受性が豊かな子どもたちから、さらに広がっていくことを期待したい。インターチェンジや道の駅、市役所などで流し続けることが大事。民話は日本の文化の原点でもあり、その教訓の再発見にもなると思う



上映会

2024年3月1日
淡路市立石屋小学校
淡路市立石屋小学校
全校児童148名



地域連携

(右)お香[あわじ島の香司] 販売元:兵庫県線香協同組合

(左)別当の塩 販売元:淡路観光開発公社

2023年3月より販売中



海で光っていたつりがねと仏像を、 引き上げた漁師たちが上流の寺に寄進した

こんなおはなし…

伯耆（ほうき）の国の大山から流れる川の河口で漁をしていたタツは、ある夜、海に光るものを見つけた。漁師たちが大きくしっかりした網を作り、海に入れて引くと大きなつりがねが上がってきて、内側には阿弥陀如来像があった。村人たちは、上流から流れてきたにちがいないと、つりが

ねと仏像を大山寺に寄進した。おぼうさんたちは、丈六（じょうろく。立った像なら高さ1丈6尺=4.8メートル、すわった像で高さ8尺=2.4メートル）の阿弥陀如来像を造り、海から上がった仏像をその首にあたる部分の中におさめ、お堂に安置した……

学びのポイント

大山の山中にあったつりがねや阿弥陀如来像が、阿弥陀川から日本海へ流れ着いたことから、山や川は、海とつながっていることがわかります。この物語に登場する人々は、海辺にくらしながらも、山からの授かりものも大切にみつめています。そこから、昔の人々の自然や物への深い

つくしみと畏敬の念を感じることができます。その後、室町時代の大洪水により山津波が発生し、大山寺阿弥陀堂は大きな被害を受けましたが、数十年をかけて現在の地に再建されました。現在は国の重要文化財に指定されています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 平柳益実	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 渡辺三千成
----------------	------------	-----------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2023年12月15日 大山町大山支所第一会議室

【竹口大紀町長コメント】

アニメ制作に関わられた多くの方々に感謝申し上げます。視覚優位と言われる最近の子どもたちにとっては、こうしてアニメ映像で地域の民話を知ることが出来るということは、深く長く語り継いでいくために大切な資源になると感じている。子どもたちから、阿弥陀川の看板を見て「なんで阿弥陀川なの？」と聞かれることがある。このようなアニメで云われを説明出来ると、より子どもたちの理解も進むのかなと思う。これから地域の大切な民話を人々の間で語り継いでいただけるような映像の活かし方をしていきたい。



上映会

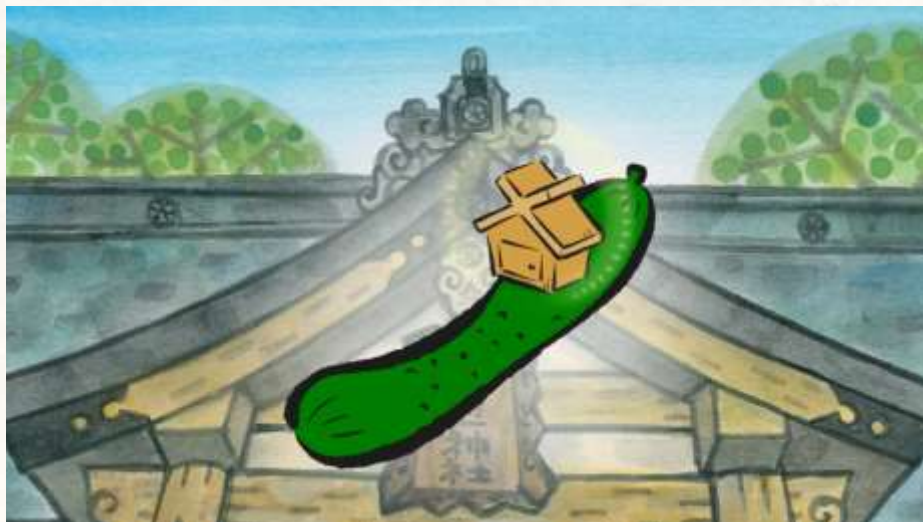
2024年3月3日
大山町大山農村環境
改善センター
大山町内外の40名



地域連携

蟹取県の塩ぼんず
販売元・大山時間
2024年2月7日より
道の駅大山恵みの里 他に販売

きゅうりの神さまと山辺神社



川のめぐみを大事にする若者が、
きゅうりにのって流れてきた神様を大切におまつりした

こんなおはなし…

江の川（ごうのかわ）のそばに幸助という若者が病気の母親とくらしていた。ある日、幸助がつりに出かけると思う以上に魚がよくつれたが、「川のめぐみはみんなのもの」という母の言葉を思い出し、よくばらずに帰路についた。すると、ピカピカ光るお宮のような箱をのせた不思議な

きゅうりが川上から流れてきて、開けてみると中には神様が……。2人はそれをおまつりして、毎日一心におがみつげると母親の病気はすっかりよくなった。そして、村の人達と力を合わせてお宮を建てなおし……

学びのポイント

民話の中で母親が語った「川のめぐみはみんなのもの」というメッセージは、漁業のひとりじめや魚のとりすぎが、川や海の生きものの世界をみだす原因になることへの教訓となっています。また、山辺神社は水運の守り神として大切にされており、「ホーランエー」ともよばれる祇園大祭

では数年に一度、舟で川をわたる神事が行われ、川の災いよけや航海の安全などを願っています。「ホーランエー」は、海の記念日が「海の日」として祝日になってからこの日に開かれ、長年の伝統行事が今も受けつがれています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 並木さとし	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 柏木郷子
----------------	-------------	----------------------------

地域連携レポート



表敬訪問
2024年1月31日 江津市役所市長応接室

【中村中市長コメント】

とても見やすい作品。学校だけでなく、市役所の交流スペースや公共施設などで放映し、多くの人に環境保全や改善の取組みが広がって、いろんなことを思っただく機会になればと思う。



上映会
2024年1月31日
江津市立郷田小学校
江津市立郷田小学校
88名、地域住民の方々



地域連携
やまいびくろス～
きゅうりの神さまと山辺神社～
販売元：やまいびくろス
2024年4月19日より
道の駅さんびこごうつにて販売



潮の流れが速く、サメが出る海で、 一人の若い漁師が命をかけてしずんだ刀を取ってきた

こんなおはなし…

昔、近江の武将が安芸の宮島へのお参りの帰り、暴風雨にあって代々伝わる家宝の刀を海に落としてしまった。鞆（現在の福山市の港町）の漁師たちに「金を出すので海にしずんだ刀を取ってきてほしい」とたのんだが、この海にはサメが出るため、だれも行こうとしなかった。「鞆の漁

師はおくびょう者ばかり。情けないやつらだ」とののしかったところ、漁師のなかから一人の若者が、「鞆の漁師の名がきずつけられては引っこんではおれん」と名乗り出た。若者は海に飛びこみ、刀をくわえてうかびあがってきたが、刀をわたすと……

学びのポイント

自然や海洋生物のおそろしさが目立つお話ですが、そこからは、地元の漁師たちのほこりと自負がうかがえます。また自然の景色が美しい島も、実は潮の流れが速い場所があり、場所や天候によって変化に富む瀬戸内の一面も学ぶことができます。この辺りの海では、5月には40人以上があ

みを引く全国でも有名な「観光鯛網漁」が行われ、初夏の風物詩「鞆の浦弁天島花火大会」が行われています。美しい花火が江戸時代の風情を残す海辺の美しい町なみを照らし出し、昔から受けついで海ぞいの自然と歴史文化に思いをはせることができます。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 湖川友謙

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月1日 福山市役所6階第2応接室

【枝廣直幹市長コメント】

広島県初の「海ノ民話のまち」認定ということで大変喜ばしい。「百貫島物語」は以前から知っていたが、次世代を担う子どもたちが、地元の民話をより容易に理解できる機会になると思う。市として、海ノ民話のまちに認定頂いたことでこのアニメを市民はもとより、市外から福山市、鞆の浦にお越しの観光客の目にも触れる形で、活用を進めてまいりたい。具体的に、認定証とアニメのDVDは市役所ロビーに飾りたい。



上映会

2024年3月22日
福山市立鞆の浦学園
福山市立鞆の浦学園全校
児童132名



地域連携

コラボ文房具(4品)
付箋、ノート、マスキングテープ、定規
販売元:丸天産業株式会社
2024年4月より
RCCWebShop、
福山市内の観光物産店にて販売予定

鳴門の太鼓



若い漁師が海で鳴る太鼓を見にいき、 調子にのってふみ破って、渦潮ができた

こんなおはなし…

昔、鳴門の海で潮が満ちてくるたびに太鼓のような音がドーン、ドーンとひびいてきて、みんな気味悪がっていた。若い漁師が様子を見にいって海へ飛びこみ、どんどんもぐっていくと、かべのような物につき当たった。よじ登ると上は平らになっていて、乗ってみると体がフワッと

ういて、思い切り足でふみつけるとドーンと鳴り、まるで海の中にある太鼓のよう。調子に乗ってふみつけているうちに表面の皮が破れ、海水がうずをまきながらものすごい勢いで流れこんで……

学びのポイント

海から聞こえる太鼓の音は、鳴門の渦潮により波がはげしくぶつかり合う音とも、あるいは大きな地震が起きた時の海底の地鳴りの音とも言われています。泳ぎに自信があるからと油断して興味本位で海に飛びこむと、大きな危険につながりかねないと、海の事故に対する注意を伝えていま

す。また、潮の満ち引きによって生じる「鳴門の渦潮」は、観光地としても知られています。鳴門海峡はその独特の地形から、豊富なプランクトンや、たくさんの海洋生物のすみかとなっており、今も豊かな海として、なくてはならないものになっています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 並木さとし	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 モグゾ
----------------	-------------	---------------------------

地域連携レポート



表敬訪問
2024年1月16日 鳴門市役所3階会議室

【泉理彦市長コメント】

鳴門海峡の渦潮は世界三大潮流のひとつ。20メートル以上の渦がまく『動』の海と、少し入るとウチノ海というとても静かな『静』の海がある。同じところに存在する2つの海を描いてくれており非常に嬉しい。慢心があると事故を起こしてしまうという警鐘を鳴らしている。子どもたちにも、鳴門の歴史と合わせて考えてもらえたらと思う。「鳴門海峡の渦潮を世界遺産に」という活動も行っているので、ぜひアニメも使わせていただいて鳴門に興味を持っていただきたい。



上映会

2024年2月3日
鳴門市立図書館
鳴門市民約80名



地域連携

アニメ完成記念
コラボフード(15品)
販売元: 地元企業11社
2024年2月3日より、
なると物産館・道の駅
第九の里にて販売



ひどいあらしの日に、海岸に流れ着いた地蔵を 引き上げると大波がおさまった

こんなおはなし…

ある年のこと、ひどいあらしが何日も続き、川の水があふれて家も田畑もおし流されてしまった。人々が一心に神仏にいのりつづけると、大きな木のようなものが海岸に流れ着いた。それはとても大きなお地蔵さまで、丘へ引き上げると、不思議なことにそれまであれくっていたあらしが

おさまっていった。村人は大喜びし、このありがたいお地蔵さまをどこかのお寺におまつりしようと考えたが、動かそうとしてもびくともしない。おぼうさんが問いかけるようにお経を唱えようと、お地蔵さまは北に向かいたいということが分かり、北に向かって動かしてみると……

学びのポイント

過去、くりかえし水害が起こった地蔵が浜では、お地蔵さまをおがむことで川の氾濫をおさめることができると信じられていたようです。山の中にある実報寺（じっぽうじ）のお地蔵さまの体に、かつてはカキの貝がらが残っていたことから、海から流れ着いたお地蔵さまを安置したことが

わかります。沿岸部には、流れ着いたものをご神体として大事にする「漂着神信仰（ひょうちゃくしんしんこう）」という考え方があり、仏様においても同様になったのでしょうか。このように、海からのおくりものを大事にする文化は、日本全国にあります。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	平柳益実	清島ゆう子

地域連携レポート



表敬訪問
2023年12月18日 西条市役所501会議室

【玉井敏久市長コメント】

製作していただいた日本財団に感謝している。老若男女に受け入れられるような非常にやわらかい仕上がりになった。これをいかに活かしていくかが我々の仕事だと思っている。本作品をフックに、西条の中で当たり前になっているものを、そうじゃないかも？という視点で検証し直すことも大事だと思った。村人たちがご本尊を運ぶシーンでは、西条市民の優しさを想像することができたし、この教材を通して、人の優しさや地域への愛着を見て感じてもらうことが大事だとも思う。



上映会
2024年2月29日
西条市立庄内小学校
西条市立庄内小学校
全校児童64名



地域連携
のりあられ、しおあられ
販売元：東陽製菓株式会社
2024年3月27日より
東陽製菓株式会社直売所、
タオル美術館 他で販売。

海に沈んだ鬼



海が碍えてこまっている村人のため、
赤鬼が大岩を海にしずめてあらしをおさめた

こんなおはなし…

昔、豊かな漁場がある久礼の浜の山のほうに、おだやかな赤鬼の親子が住んでいた。浜の村人は、鬼の親子にカツオをおそなえし、仲よくくらしていた。ある年、海が碍れる日が続き、漁に出ても思うようにカツオがとれず、波で船がしずむこともあった。村人たちの深い苦しみやなげきを知り、鬼は村人たちのためにと、金棒の両側に二つの大岩

をさして持ち上げ、大波を止める決意をした。子鬼は浜に残ることを聞き入れず、親鬼は子鬼を岩にのせてあれくるう海に入り、ふんばりながら海の中を進んで2つの岩をしずめ……

学びのポイント

久礼湾にうかぶ一對の島「双名島（ふたなじま）」の地形にまつわる鬼の伝説を知り、海のおそろしさを感じることで、自然と人との共存を考えるきっかけとなります。父鬼と子鬼の悲しい物語とともに、双名島は、景勝地として

人々に親しまれ、今も久礼の漁師達は、海の安全と大漁を願って、この島を海の守り神として大切にしています。

制作チーム

語り	脚本	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出
四宮豪、富田泰代	平柳益美	小原秀一

地域連携レポート



表敬訪問
2024年1月29日 中土佐町役場4階委員会室

【池田洋光町長コメント】

双名島には連続と私たちの中土佐町に語り継がれてきた物語が多くあるが、アニメーションで描かれたのは初めてで、胸が熱くなった。中土佐町では漁師たちが海を生業に生きている。自然を相手に生きる過酷さと人々の絆がこの度のアニメに凝縮されており感動した。高知県は、まんが甲子園というイベントもやっている。アニメは日本が世界に誇る大きな文化だと思うので、このアニメを通じて、小さなお子様からお年寄りまで、みんなが共感できる、楽しめる素晴らしい作品ができたなと思っている。



上映会

2024年2月25日
中土佐町人権啓発センター
中土佐町民約50名



地域連携

カツオ節のふりかけ
【双名島】
販売元：田中鮮魚店
2024年3月末より
高知県中土佐町
津波避難タワーにて
見学者に配布

琴の海の天女



両親を病気でなくしたむすめが、 二人を思って海辺で母の形見の琴をひいた

こんなおはなし…

彼杵（そのぎ）の村に仲のいい3人の親子が住んでいたが、むすめは両親をはやり病で一度になくしてしまった。毎日泣いていたむすめは、気にかけていた天帝（天にいる神）の計らいで天女として天上でくらすことになり、だんだん元気を取りもどしていった。夏の夕ぐれ、彼杵の美しい景色をながめていたむすめは、やさしかった父と母のことを

思い出してさびしい気持ちになり、下界におり立った。手にしていた母の形見である琴をひきはじめると、その美しい音色はいつまでもひびきつづけ……

学びのポイント

長崎県の大村湾は、はばのせまい瀬戸を通じてしか外海と接しておらず、日本でも有数の閉鎖性が高い海として知られています。波が静かでおだやかなので、琴のように小さな音でもよくひびくことが、この辺りが琴の海とよばれる

ようになった由来と考えられています。民話を通じて、その土地の独特な地理にも目を向けるきっかけとなるはずですよ。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代	脚本 神尾香菜子	キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 ヨコタユリコ
----------------	-------------	------------------------------

地域連携レポート



表敬訪問

2024年1月23日 東彼杵町役場応接室

【岡田伊一郎町長コメント】

この民話は紙芝居などで見たことがあり以前からよく知っていた。天女のイラストを町の資料の表紙に使ったことがあるほど馴染みのあるものだ。今回アニメになったことによって、子どもの情操教育にさらに役立つものになったと思う。子どもは国の宝なので、総力を挙げて育てるためにも、このアニメを利用させていただきたい。



上映会

2024年1月23日
東彼杵町立千綿小学校
校／東彼杵町立彼杵小学校
東彼杵町立千綿小学校50名／東彼杵町立彼杵小学校160名



地域連携

①極上朝霧そだち[さえみどり]
②特上高原の香り
販売元: ききつ製茶園
2024年2月より
長崎街道かめ市場内
「長崎お土産すみや」にて販売

お倉ヶ浜とお金ヶ浜



ハマグリをひとりじめしたむすめと、 分け合ったむすめに、別々の結末がおとずれた

こんなおはなし…

別々の浜辺でハマグリをとってくらしている「お金」と「お倉」という2人のむすめがいた。ある日、どこからかボロをまとった旅のおぼうさんが現れ、お金に「ハマグリを分けてもらえないか」と声をかけると、「かごの中は石ころだよ!」と言って、ぶいっと横を向いてしまった。お金が家に帰ってかごを見ると、とったハマグリは本当に石に

なっていた。一方のお倉はおぼうさんに声をかけられると、わずかにとれた自分と母親の分のハマグリを差し出した。おぼうさんは情け深いお倉に感謝して、仏の導きがあることを告げ……

学びのポイント

宮崎県の日向灘沿岸一帯は古くからハマグリの生息地であり、とくにお倉ヶ浜とお金ヶ浜は、特産地として有名です。ハマグリは、食用だけではなく、基石の材料としても使われています。海からのめぐみは食料としてだけでなく、広

く生活に根づいているのを知ることができます。また、この民話は海のめぐみを人と分け合うことの大切さを伝え、漁業のひとりじめや魚のとりすぎにより、人間の手で生態系をみだすことの危険を知らせています。

制作チーム

語り 四宮豪、富田泰代 | 脚本・キャラクターデザイン・絵コンテ・演出 本多敏行

地域連携レポート



表敬訪問
2024年2月22日 日向市役所市長応接室

【十屋幸平市長コメント】

素晴らしいアニメが出来た。ふるさと愛を育む貴重な財産。海に親しむことはあるが、恐ろしい事故や津波があるということも、両方伝えていきたい。ハマグリを足でモゾモゾしてとっているところが、アニメでしっかり表現されていて良かった。私たちはその経験があるので実感できるが、今はハマグリがとれなくなったので、子どもたちがその体験と海の恵みを実感できないことが残念。園児から学生、大人まで幅広く見てもらえるように、今後、教育委員会と連携していきたい。



上映会

2024年2月9日
日向市立平岩小中学校
日向市立平岩小中学校に通う小学生190名



地域連携

ドリップコーヒー
海と日向ブレンド
販売元：日向珈琲
2024年3月6日より
日向珈琲 他に販売